絵画と額縁の組み合わせ効果における理解度の影響

栗川直子

(岡山大学大学院社会文化科学研究科)

キーワード: 絵画, 額縁, 印象評定

The influence of understandability on harmony between painting and frame

Naoko KURIKAWA

(Graduate School of Humanities and Social sciences, Okayama University)

Key Words: painting, frame, impression evaluation

目 的

絵画と額縁の相性は作品の魅力を左右することが経験的に知られている。しかし、その組み合わせの法則は明らかにされていない。絵画の印象評価構造について検討した筒井・近江(2010)は、絵の理解度と快さ、美しさ、好ましさの間に正の相関が見られたことを報告している。一方、抽象画のように何が描かれているかわかりにくい絵画では、個性的、おもしろいといった評価が高まることが指摘されている(岡田・井上, 1991)。本研究では、絵画の印象評価を規定する要因として理解度を取り上げ、絵画と額縁の組み合わせ効果における理解度の影響について検討した。

方 法

参加者: 美術専攻以外の大学生 43 名 (男性 23 名, 女性 20 名), 平均年齢 19.4 歳 ($SD=5.28$)。

刺激: 【額縁あり条件】正方形にトリミングしたカラー絵画 4 点 (Figure 1, 1・2 は 17~18 世紀の写実的絵画, 3・4 は 20 世紀の現代絵画) に額縁 (a, b) (Figure 2) を組み合わせたもの (8 個)。【額縁なし条件】絵画のみ (4 個)。合計 12 個。

Figure 1 実験に使用した絵画

Figure 2 絵画に組み合わせた額縁

評定尺度: 予備調査にて選定された評価性 (快い, よい, 好きな, 安心な, 安定した)・活動性 (派手な, 騒がしい, 嬉しい, 明るい, 陽気な) 尺度に加え, 額縁なし条件では“理解できる”“個性的な”“おもしろい”, 額縁あり条件では“絵と額縁の調和度”についても評価を求めた (すべて 7 段階)。

手続き: A4 用紙上部にカラー刺激, その下に評定スケールを印刷した冊子を授業終了後の教室にて配布, その場で回収した。回答にあたっては, 額縁を含めた刺激全体をよく観察するように指示を行った。

結 果 と 考 察

1. 尺度間の相関 額縁なし条件において, 評価性・活動性得点と“理解できる”“個性的な”“おもしろい”の評定値について相関係数を求めたところ, 評価性と“理解できる” ($r=.70$), 活動性と“個性的な” ($r=.45$) および“おもしろい” ($r=.24$) の間に有意な正の相関が認められた。

2. 額縁の形状と評価性・活動性得点 各絵画に共通して, 評価性においては額縁なしおよび額縁 a の値が高く, 活動性

においては額縁 b の値が高かった (Table 1)。額縁 a の形態的特徴である対称性・規則性が評価性に対応し, 額縁 b の不規則性・複雑性が活動性に対応していると考えられる。

3. 各絵画の理解度・調和度 絵画 1・2 は理解度が高く, 3・4 は低かった。調和度について, 絵画 1・2 は額縁 a と b を組み合わせた場合の差が大きく, 3・4 はどちらの額縁の場合も同程度の値であった (Table 1)。

4. 絵の理解度と額縁の調和度 額縁 a の場合, 理解度にかかわらず絵と額縁の調和度は一定であったが, 額縁 b の場合, 絵の理解度が 4 以上になると, 調和度が大きく低下していた (Figure 3)。以上のことより, 理解度の高い絵画すなわち写実的絵画においては, 評価性の高さに対して不規則・複雑な額縁の異質性が強く影響し調和度が低下するが, 理解度の低い絵画すなわち現代絵画においては, 調和度について額縁の形状の影響を受けない, もしくは不規則・複雑な額縁の形態的特徴から得られる印象が絵画の印象と一致するため調和度が高まる可能性が示唆された。

Table 1 各刺激の印象評定値と額縁の調和度 (SD)

	絵画 1	絵画 2	絵画 3	絵画 4
理解できる	4.49 (1.40)	5.26 (1.42)	2.86 (1.46)	2.47 (1.52)
個性的な	3.26 (1.24)	3.09 (1.32)	5.19 (1.48)	6.00 (1.15)
おもしろい	3.81 (1.33)	4.26 (1.33)	4.28 (1.52)	4.60 (1.53)
評価性 額縁なし	4.51 (0.89)	5.65 (0.80)	3.82 (0.91)	3.44 (0.84)
額縁a	4.55 (0.86)	4.96 (1.00)	4.07 (0.81)	3.60 (1.04)
額縁b	3.21 (0.80)	3.16 (1.00)	3.27 (1.03)	3.25 (1.01)
活動性 額縁なし	3.15 (0.70)	4.04 (0.70)	4.60 (0.72)	4.55 (0.93)
額縁a	3.14 (0.93)	3.86 (0.62)	3.95 (0.57)	4.54 (0.71)
額縁b	4.45 (0.81)	4.49 (0.51)	5.28 (0.69)	5.30 (0.75)
調和度 額縁a	5.26 (1.11)	3.56 (1.89)	4.53 (1.42)	4.07 (1.40)
額縁b	2.26 (1.20)	1.79 (0.80)	4.28 (1.93)	4.67 (1.82)

Figure 3 絵の理解度と額縁の調和度

引用文献

- 筒井亜湖・近江源太郎(2010). 視覚造形における理解度と美的評価. デザイン学研究, **57**, 11-18.
 岡田守弘・井上純(1991). 絵画鑑賞における芸術性評価要素に関する心理学的分析, 横浜国立大学教育紀要, **31**, 45-66.